



2021年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月12日

上場会社名 株式会社AVANTIA

上場取引所 東名

コード番号 8904 URL <https://avantia-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沢田 康成

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 宮崎 卓也

TEL 052-859-0034

四半期報告書提出予定日 2021年4月12日

配当支払開始予定日

2021年5月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	17,690	7.3	292	304.9	364	67.0	229	82.9
2020年8月期第2四半期	16,489	1.5	72	75.4	218	44.7	125	58.6

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 259百万円 (135.1%) 2020年8月期第2四半期 110百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	16.17	
2020年8月期第2四半期	8.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	43,031	24,741	57.5
2020年8月期	44,655	24,726	55.4

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 24,741百万円 2020年8月期 24,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		19.00		19.00	38.00
2021年8月期		19.00			
2021年8月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	10.8	1,400	20.8	1,600	20.2	1,000	16.0	70.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期2Q	14,884,300 株	2020年8月期	14,884,300 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年8月期2Q	649,155 株	2020年8月期	679,055 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期2Q	14,216,148 株	2020年8月期2Q	14,586,668 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、当社は、機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会の開催を予定しており、この決算説明会で配布する第2四半期決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	10
3. 参考資料	12
(1) 生産、受注及び販売の実績	12
(2) 四半期損益計算書(個別)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、経済活動の再開により景気は徐々に回復に向かっておりましたが、感染症の再拡大により緊急事態宣言が再発令されるなど景気の先行きは不透明な状況であります。

当不動産業界におきましては、住宅取得支援政策や金融緩和政策継続を背景に、住宅需要は堅調に推移しております。また、テレワークの浸透による生活様式の変化が戸建住宅取得の意識を高めており、当社の足元の受注は順調に推移しておりますが、景気の不安定な状況により今後の動向を注視する必要があります。

このような事業環境のもと、「美しいデザイン」「妥協を許さない品質」「万全のアフターケア」の3つの価値をお客様に提供することをコンセプトとした戸建住宅の新ブランド「AVANTIA」を立ち上げ、広告宣伝活動等によるブランド構築、認知活動に努めてまいりました。また、当社グループが目指す姿として「お客様・地域・社会に寄り添い、あらゆる不動産ニーズを解決する企業集団となる」という長期ビジョンを掲げ、ビジョンの達成に向けては、戸建住宅事業をコア事業と位置付けつつ、請負住宅事業や周辺事業である不動産仲介事業、リフォーム事業、リノベーションなど不動産に関する様々な事業を展開し、「総合不動産サービス企業」を目指しております。

また、販売用地の取得も、同業他社との仕入競争の激化は継続しているものの、厳選した物件を積極的に購入していくことで、将来の受注獲得に向けた販売物件の確保に注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は176億90百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は2億92百万円（前年同期比304.9%増）、経常利益は3億64百万円（前年同期比67.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億29百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

当社グループのコア事業である戸建住宅事業は、今後の成長戦略として「エリア戦略」と「ブランド戦略」を積極的に推し進めていきます。「エリア戦略」としましては、支店展開による地域密着型の営業活動の強みを活かしながら、コアエリアである愛知県のさらなる深耕と愛知県以外のエリアでの収益力強化、事業拡大を推し進めていきます。また、「ブランド戦略」では、戸建住宅の「AVANTIA」ブランドの認知を進め、「美しいデザイン」「妥協を許さない品質」「万全のアフターケア」を兼ね備えた同業他社の追随を許さない圧倒的な強さを持った住宅商品を目指し、持続的な進化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は144億97百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は2億9百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

(マンション事業)

マンション事業は、当社子会社であるサンヨーベストホーム株式会社がファミリー層をメインターゲットに、名古屋市内を中心に生活利便性の高い立地に厳選したマンションブランド「サンクレア」を展開しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は7億17百万円（前年同期比75.6%増）、営業損失は18百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

(一般請負工事業)

一般請負工事業は、当社子会社であるジェイテクノ株式会社、株式会社巨勢工務店、株式会社宇戸平工務店の3社がそれぞれの地域の老舗工務店を母体として、公共事業や民間工事での実績や高い技術力を活かし、当社グループの戸建住宅やマンション施工等、様々なシナジーを発揮しながら業容を拡大しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は17億74百万円（前年同期比42.5%減）、営業利益は10百万円（前年同期比85.7%減）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、不動産事業において周辺事業である不動産仲介事業、リフォーム事業、リノベーション事業などあります。当社は不動産に関する様々な事業を展開し、「総合不動産サービス企業」を目指しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は7億円（前年同期比131.8%増）、営業利益は79百万円（前年同期比25.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億23百万円減少し430億31百万円となりました。主な要因は、現金預金の減少17億87百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少7億14百万円、たな卸資産の増加11億11百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億39百万円減少し182億90百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等の減少7億17百万円、短期借入金の減少6億53百万円、長期借入金の増加3億50百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し247億41百万円となりました。主な要因は、配当金の支払2億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億29百万円の計上等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」と言う。）は、前連結会計年度末に比べ18億5百万円減少し、122億92百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は11億49百万円の減少（前年同期は50億59百万円の資金の減少）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3億41百万円、売上債権の減少額7億14百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額11億11百万円、仕入債務の減少額7億17百万円、法人税等の支払額4億75百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は83百万円の減少（前年同期は21百万円の資金の増加）となりました。主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出37百万円、有形固定資産の取得による支出32百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は5億72百万円の減少（前年同期は24億28百万円の資金の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入金の純増加額3億50百万円であり、主な減少要因は、短期借入金の純減少額6億53百万円、配当金の支払額2億70百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2020年10月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、今後も注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,141,167	12,353,925
受取手形・完成工事未収入金等	2,036,136	1,321,465
販売用不動産	8,045,535	6,767,347
開発事業等支出金	13,612,366	15,281,792
未成工事支出金	1,780,559	2,500,210
材料貯蔵品	13,690	14,191
その他	660,822	491,905
貸倒引当金	△1,310	△1,109
流動資産合計	40,288,968	38,729,728
固定資産		
有形固定資産	2,832,496	2,733,703
無形固定資産	191,492	191,689
投資その他の資産		
投資有価証券	627,957	612,290
その他	715,763	765,443
貸倒引当金	△955	△955
投資その他の資産合計	1,342,764	1,376,778
固定資産合計	4,366,753	4,302,171
資産合計	44,655,721	43,031,899
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,422,802	2,704,964
短期借入金	7,878,950	7,225,950
1年内返済予定の長期借入金	342,090	866,753
未払法人税等	520,007	168,845
未成工事受入金	485,534	522,203
賞与引当金	133,625	89,310
完成工事補償引当金	17,841	18,797
その他	1,120,569	859,721
流動負債合計	13,921,420	12,456,546
固定負債		
長期借入金	5,276,987	5,103,219
退職給付に係る負債	250,379	257,334
その他	480,740	472,929
固定負債合計	6,008,106	5,833,482
負債合計	19,929,527	18,290,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,732,673	3,732,673
資本剰余金	2,982,029	2,980,013
利益剰余金	18,590,865	18,550,872
自己株式	△629,792	△602,061
株主資本合計	24,675,776	24,661,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,417	80,373
その他の包括利益累計額合計	50,417	80,373
純資産合計	24,726,194	24,741,871
負債純資産合計	44,655,721	43,031,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	16,489,459	17,690,369
売上原価	14,148,339	14,981,215
売上総利益	2,341,120	2,709,153
販売費及び一般管理費	2,268,892	2,416,722
営業利益	72,228	292,430
営業外収益		
受取利息	2,121	753
受取配当金	2,895	2,913
受取事務手数料	20,184	23,705
不動産取得税還付金	51,652	57,302
その他	117,804	39,435
営業外収益合計	194,659	124,111
営業外費用		
支払利息	37,873	38,615
その他	10,570	13,049
営業外費用合計	48,443	51,664
経常利益	218,444	364,877
特別利益		
固定資産売却益	1,388	-
資産除去債務戻入益	-	2,083
特別利益合計	1,388	2,083
特別損失		
固定資産売却損	10	-
固定資産除却損	6,278	25,023
特別損失合計	6,288	25,023
税金等調整前四半期純利益	213,544	341,937
法人税等	87,835	112,031
四半期純利益	125,709	229,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,709	229,906

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	125,709	229,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,191	29,955
その他の包括利益合計	△15,191	29,955
四半期包括利益	110,517	259,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,517	259,862
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,544	341,937
減価償却費	103,634	105,907
のれん償却額	7,149	16,634
資産除去債務戻入益	-	△2,083
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△201
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,959	△44,315
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△414	956
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,073	6,954
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△114,576	-
受取利息及び受取配当金	△5,017	△3,667
支払利息	37,873	38,615
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,378	-
固定資産除却損	6,278	25,023
売上債権の増減額(△は増加)	△1,098,797	714,671
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,233,799	△1,111,388
仕入債務の増減額(△は減少)	45,122	△717,837
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△132,968	36,669
その他	△128,675	△47,213
小計	△5,337,043	△639,335
利息及び配当金の受取額	2,923	2,967
利息の支払額	△37,835	△37,563
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	312,431	△475,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,059,523	△1,149,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,131	△78,076
定期預金の払戻による収入	51,230	60,114
有形固定資産の取得による支出	△64,991	△32,701
有形固定資産の売却による収入	8,074	-
無形固定資産の取得による支出	△5,794	△37,353
投資有価証券の取得による支出	△1,511	△1,527
投資有価証券の償還による収入	-	61,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	108,215	-
その他	△22,738	△54,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,352	△83,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,633,300	7,050,500
短期借入金の返済による支出	△9,101,000	△7,703,500
長期借入れによる収入	500,000	505,000
長期借入金の返済による支出	△326,704	△154,105
配当金の支払額	△277,020	△270,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,428,575	△572,319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,609,594	△1,805,202
現金及び現金同等物の期首残高	10,956,297	14,097,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,346,702	12,292,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、2021年3月18日開催の取締役会において、株式会社DreamTown、株式会社ドリームホーム、ドリームホーム株式会社（以下、「ドリームホームグループ」という）各社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、2021年3月31日に株式譲渡契約を締結しました。

(1) 株式取得の目的

ドリームホームグループは、戸建住宅を供給する株式会社DreamTown、その販売を担う株式会社ドリームホーム、ドリームホーム株式会社の3社で構成されており、中核会社である株式会社DreamTownの設立から13年となる今日においては、京都府内No.1の供給実績(株式会社住宅産業研究所「ホームビルダーランキング2019」による)を果たし、同地域における圧倒的な実績と知名度を保有するに至っております。

一方、当社は「お客様・地域・社会に寄り添い、あらゆる不動産ニーズを解決する企業集団となる」を掲げ、その実現と持続的な成長に向け、中期経営計画2022を推進しております。この中期経営計画の重要戦略の一つとして、当社吹田支店を中心に関西地区における営業基盤の拡充、シェアの拡大に努めてまいりました。

当社並びにドリームホームグループは、2020年12月7日付「資本業務提携等に向けた基本合意締結に関するお知らせ」にてお知らせいたしました通り、提携によるシナジーの最大化に向け更なる協議・検討を進めた結果、互いの成長を加速させ、中長期的な企業価値向上を果たすには、ドリームホームグループの株式を取得し、相互の経営資源を有効に活用できる経営環境を構築することが最良であるとの合意に至り、ドリームホームグループ各社の株式を取得することいたしました。

ドリームホームグループを当社グループに迎え入れることにより、当社関西地区における事業基盤の拡充を一気に加速させることができるだけでなく、ドリームホームグループと連携・棲み分けにより、効率的に営業基盤の拡充と販売棟数の増大を図ってまいります。また、ドリームホームグループにおいては事業基盤の強化だけでなく、ドリームホームとしてのブランド力、営業力に、当社住宅商品「AVANTIA」のデザイン性や品質、機能性等との融合を図ることで更なる成長と顧客満足度向上を図ってまいります。

(2) 株式取得の相手先の名称

会社の名称	株式会社DreamTown	株式会社ドリームホーム	ドリームホーム株式会社
相手先の名称	藤井 正和	藤井 亜希子	藤井 亜希子

(3) 買収する相手会社の名称、事業の内容、規模、取得する株式の数、取得後の持分比率、取得価額

会社の名称	株式会社DreamTown	株式会社ドリームホーム	ドリームホーム株式会社
事業内容	不動産の売買、戸建住宅の設計、施工等	不動産の売買、仲介等	不動産の売買、仲介等
資本金	10百万円	10百万円	10百万円
取得する株式の数	1,000株	1,000株	1,000株
取得後の持分比率	100%	100%	100%
取得価額	取得価額につきましては、株式取得先との株式譲渡契約における守秘義務を踏まえ、開示を差し控えていただきます。		

(4) 株式取得の時期

2021年4月19日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	戸建住宅 事業	マンション 事業	一般請負 工事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,690,979	408,811	3,087,347	16,187,138	302,321	16,489,459	—	16,489,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	889,542	889,542	16,706	906,248	△906,248	—
計	12,690,979	408,811	3,976,889	17,076,680	319,027	17,395,708	△906,248	16,489,459
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△911	△60,981	74,401	12,508	106,692	119,201	△46,972	72,228

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム、不動産仲介、測量等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△46,972千円には、セグメント間取引消去△46,532千円、棚卸資産等の調整額△440千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他の事業」において、第1四半期連結会計期間に株式会社プラスワンの全株式を取得し、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、当該事象により発生したのれんの金額は94,851千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来戸建住宅事業に含めておりましたリフォーム事業を独立の事業とし、その他の事業に含めております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	戸建住宅 事業	マンション 事業	一般請負 工事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,497,312	717,823	1,774,540	16,989,676	700,693	17,690,369	—	17,690,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	762,414	762,414	14,809	777,224	△777,224	—
計	14,497,312	717,823	2,536,955	17,752,090	715,503	18,467,593	△777,224	17,690,369
セグメント利益又はセグメント損失(△)	209,955	△18,192	10,627	202,390	79,985	282,375	10,055	292,430

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム、不動産仲介、測量等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額10,055千円には、セグメント間取引消去1,422千円、棚卸資産等の調整額8,632千円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考資料

(1) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間における生産、受注及び販売の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

①生産実績

	当第2四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	12,482,229	93.8
マンション事業	559,896	67.6
一般請負工事事業	2,638,357	65.3
その他の事業	411,621	153.5
合計	16,092,103	87.2

②受注実績

受注高

	当第2四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	17,393,062	119.9
マンション事業	880,363	111.4
一般請負工事事業	2,331,622	150.1
その他の事業	756,060	229.4
合計	21,361,109	124.3

受注残高

	当第2四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	11,743,110	98.1
マンション事業	344,492	90.3
一般請負工事事業	1,905,525	108.9
その他の事業	221,619	148.0
合計	14,214,747	99.8

③販売実績

	当第2四半期連結累計期間	
	金額(千円)	前年同期比(%)
戸建住宅事業	14,497,312	114.2
マンション事業	717,823	175.6
一般請負工事事業	1,774,540	57.5
その他の事業	700,693	231.8
合計	17,690,369	107.3

(2) 四半期損益計算書(個別)
 (要約) 四半期損益計算書

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
売上高	12,574	13,929
売上原価	10,673	11,877
売上総利益	1,900	2,052
販売費及び一般管理費	1,842	1,876
営業利益	58	175
営業外収益	199	163
営業外費用	37	40
経常利益	220	299
特別利益	—	2
特別損失	6	25
税引前四半期純利益	213	276
法人税等	83	99
四半期純利益	130	176

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。